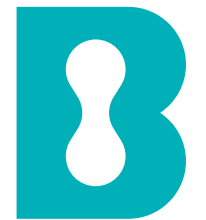


2025年3月期 第1四半期 決算説明資料

2024年8月2日
ビジネスエンジニアリング株式会社



B-EN-G

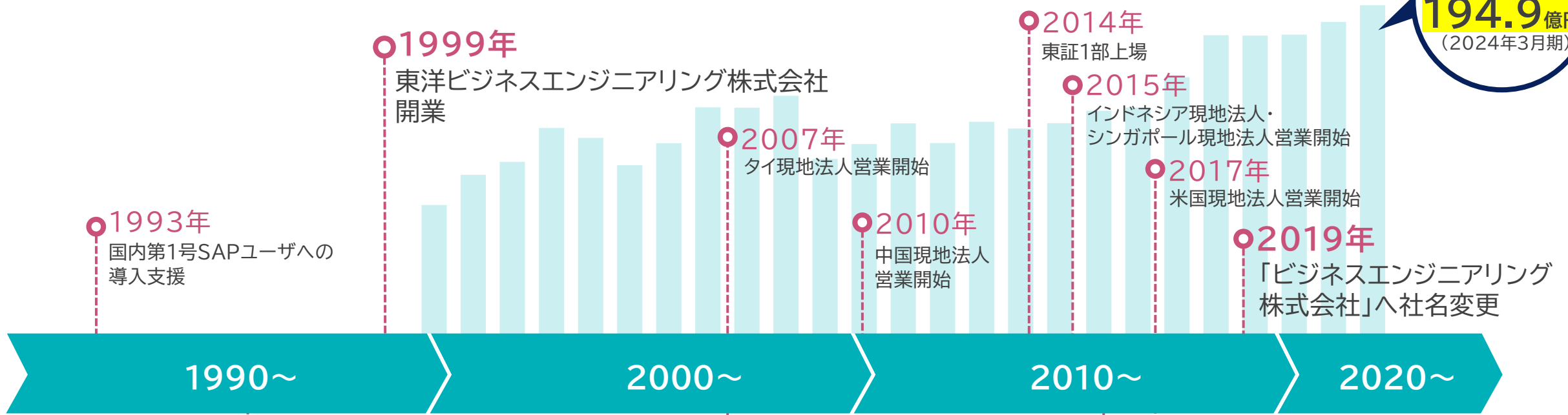
Business Engineering for Growth

本日のアジェンダ

1. 当社について
2. 2025年3月期 第1四半期 決算の概要
3. 2025年3月期 上期業績予想について
4. 2025年3月期 通期業績予想について

沿革

設立から20年以上、製造業に対する豊富な知見を活かして
「ものづくりのためのIT」を提供。



1993年
国内第1号SAPユーザへの
導入支援

1999年
東洋ビジネスエンジニアリング株式会社
開業

2007年
タイ現地法人営業開始

2010年
中国現地法人
営業開始

2014年
東証1部上場

2015年
インドネシア現地法人・
シンガポール現地法人営業開始

2017年
米国現地法人営業開始

2019年
「ビジネスエンジニアリング
株式会社」へ社名変更

1991年
ERPビジネス開始
(日本初のSAPパートナー)

1996年
MCFrame(自社開発パッケージ)リリース

2007年
A.S.I.A.事業統合

2017年
「mcframe 7」提供開始

2016年
「mcframe」ブランド統合
「mcframe IoT」シリーズ提供開始

事業拠点：(国内)東京本社・関西支店・中部営業所
(海外)タイ・中国・シンガポール・インドネシア・米国

資本金：6億9760万円
従業員数：699名(連結・2024年3月)

B-EN-Gのビジネス | 3つの事業セグメント

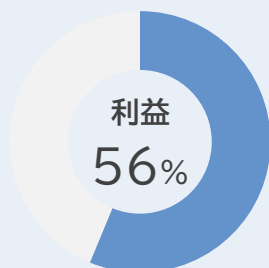
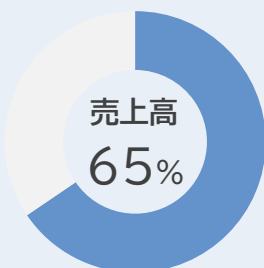
「ものづくりのためのIT」を実現する、3つのセグメントで事業を展開。

ソリューション 事業

SAPをはじめとする他社製の
パッケージ製品をベースとしたSI事業



セグメント構成比*



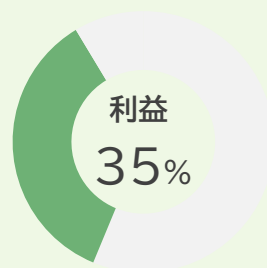
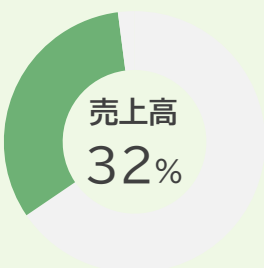
製造業に関する豊富な知識と経験に
基づくシステムインテグレーション

プロダクト 事業

「mcframe」シリーズを中心とする
自社パッケージ製品の開発・販売・導入事業



セグメント構成比*



長年のノウハウを注いで自社開発した
高い利益率のライセンス販売

システムサポート 事業

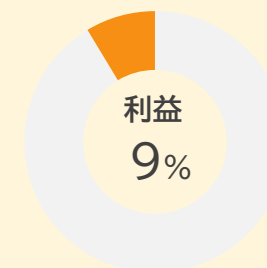
システム導入後の運用・保守サービス
およびシステム開発

運用保守サービス
(AMS)

設計開発
サービス

IT
アウトソーシング
サービス

セグメント構成比*

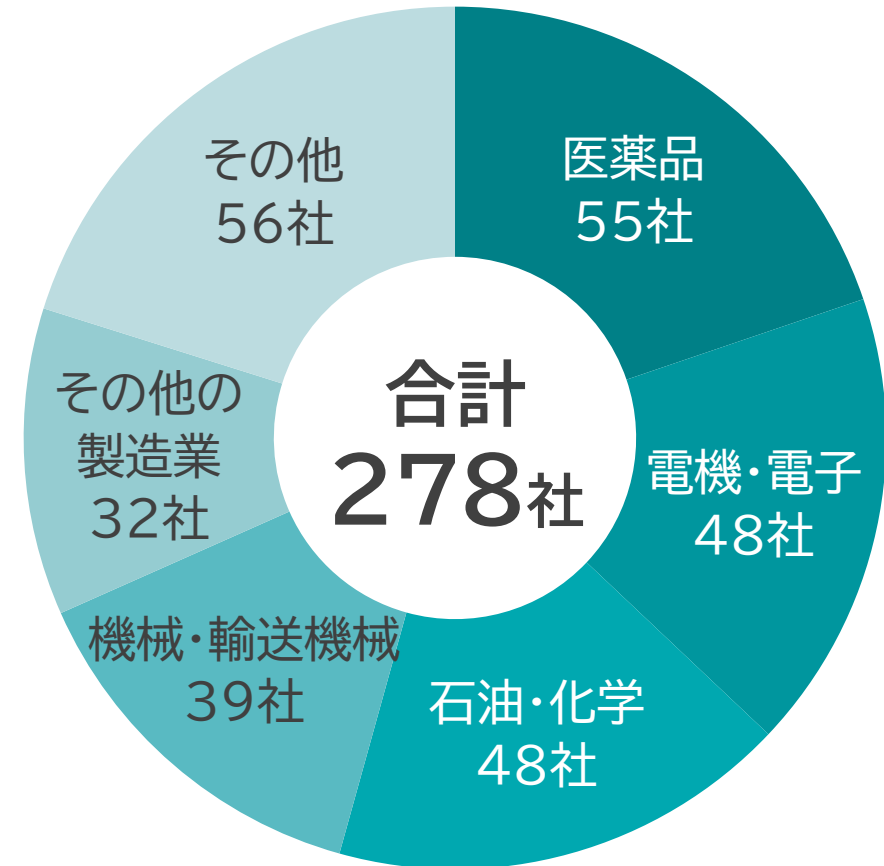
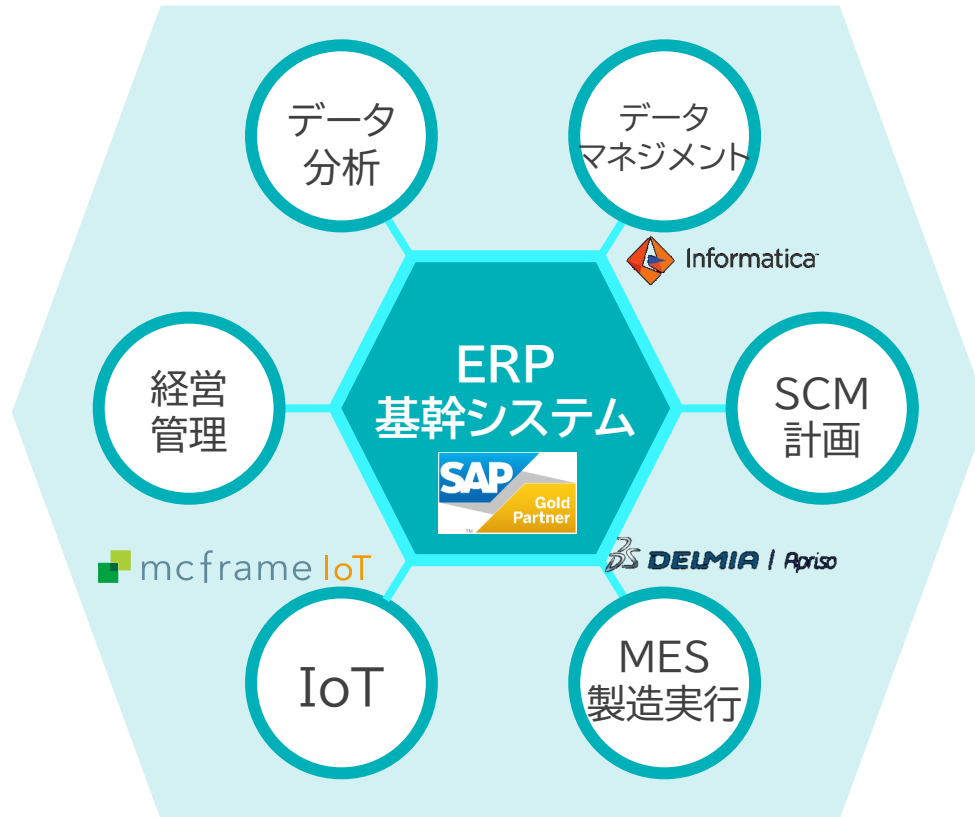


納入後のシステムを活用する
運用保守サービス

B-EN-Gのビジネス | ソリューション事業

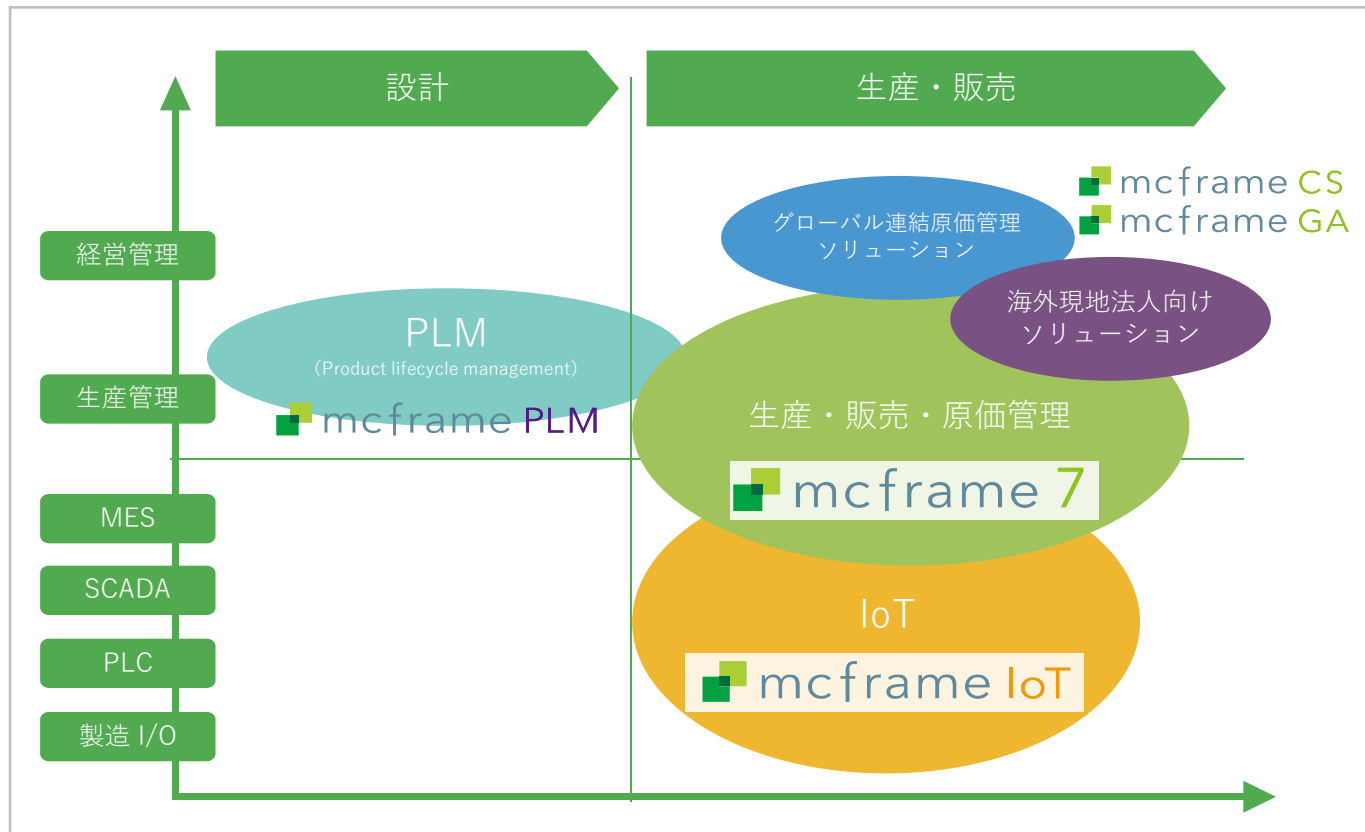
ERP・基幹系システムを中心に、周辺製品との組み合わせによる課題解決型ビジネスを推進。「ものづくりのDX」を実現する。

<業界別導入実績(2024年3月末時点)>

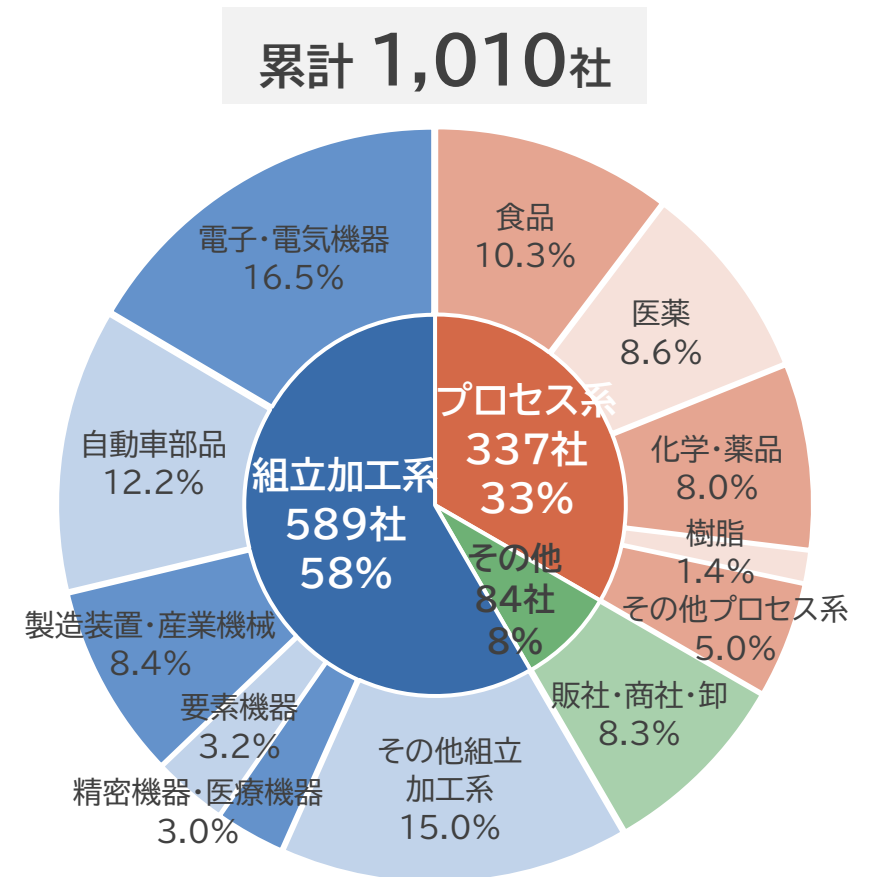


B-EN-Gのビジネス | プロダクト事業

製造業向けソリューション「mcframe」を中心に、エンジニアリングチェーン・サプライチェーンを統合する「ものづくりデジタルイノベーション」を実現。



<業界別累計導入実績(2024年3月末時点)>



2. 2025年3月期 第1四半期 決算の概要

2025年3月期 第1四半期 決算のポイント

事業環境

- 一部に弱めの動きがみられたものの、企業収益は改善、業況感は良好な水準を維持するもとの、景気は緩やかに回復。
- DXニーズの高まりを受け、製造業の情報化投資は堅調。

決算概要

- 売上高 過去最高を連続更新
 - 営業利益
 - 経常利益
 - 当期純利益
- 3期連続 過去最高を更新

業績予想

- 変更なし
- 上期 売上高 103億円(+5.0%)、営業利益 21.5億円(+1.7%)
通期 売上高 205億円(+5.2%)、営業利益 42億円(+8.1%)

損益の概要(前期比較)

(百万円)	2024年度第1四半期 実績	2023年度第1四半期 実績	差異 (増減率)
売上高	5,042	4,703	+339 (+7.2%)
売上総利益	2,221	1,989	+231
売上総利益率	(44.1%)	(42.3%)	(+11.6%)
営業利益	1,167	1,000	+166
営業利益率	(23.2%)	(21.3%)	(+16.7%)
経常利益	1,183	1,011	+171
経常利益率	(23.5%)	(21.5%)	(+17.0%)
当期純利益	803	684	+118
当期純利益率	(15.9%)	(14.6%)	(+17.3%)
受注高	4,674	4,894	▲219 (△4.5%)

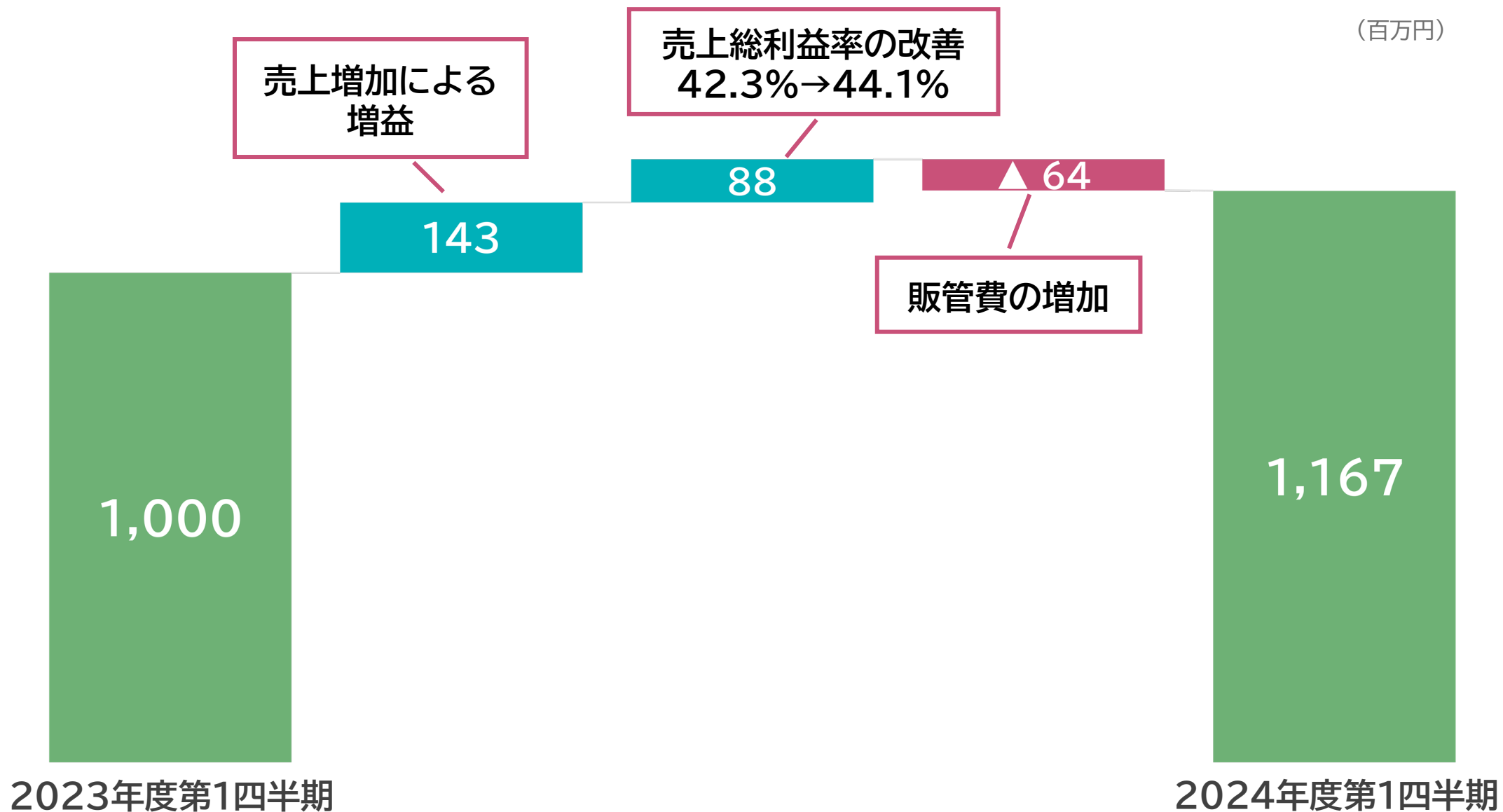
売上・利益ともに
前期を大きく上回る

ソリューション事業:売上増による
利益増、プロジェクト採算性向上
プロダクト事業:ライセンス販売伸長

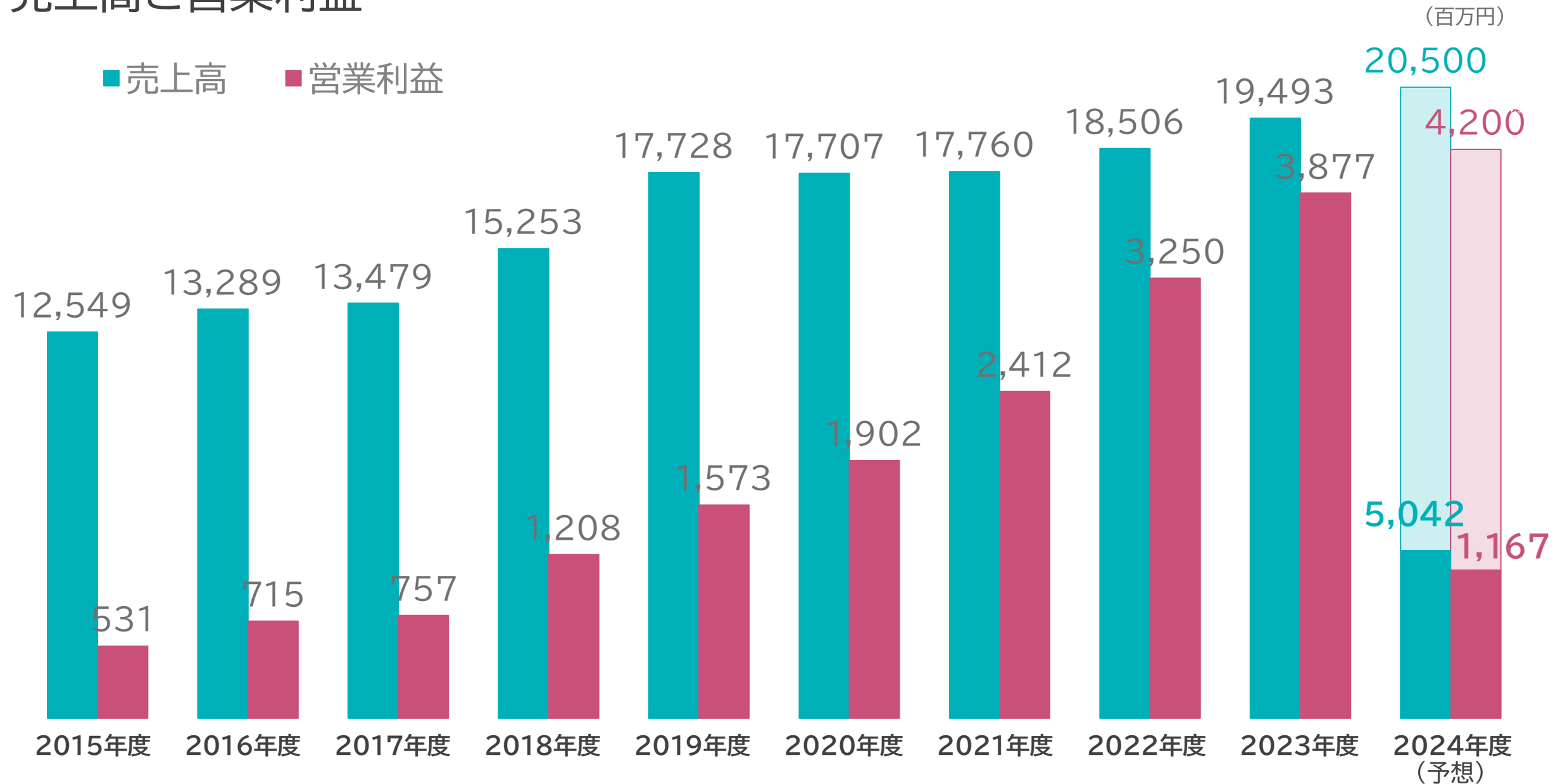
注:本説明資料の記載金額は、全て百万円未満を切り捨てて表示しております。
また、「親会社株主に帰属する当期純利益(四半期純利益)」を「当期純利益(四半期純利益)」と表示しております。

営業利益の増減分析(前期比較)

(百万円)

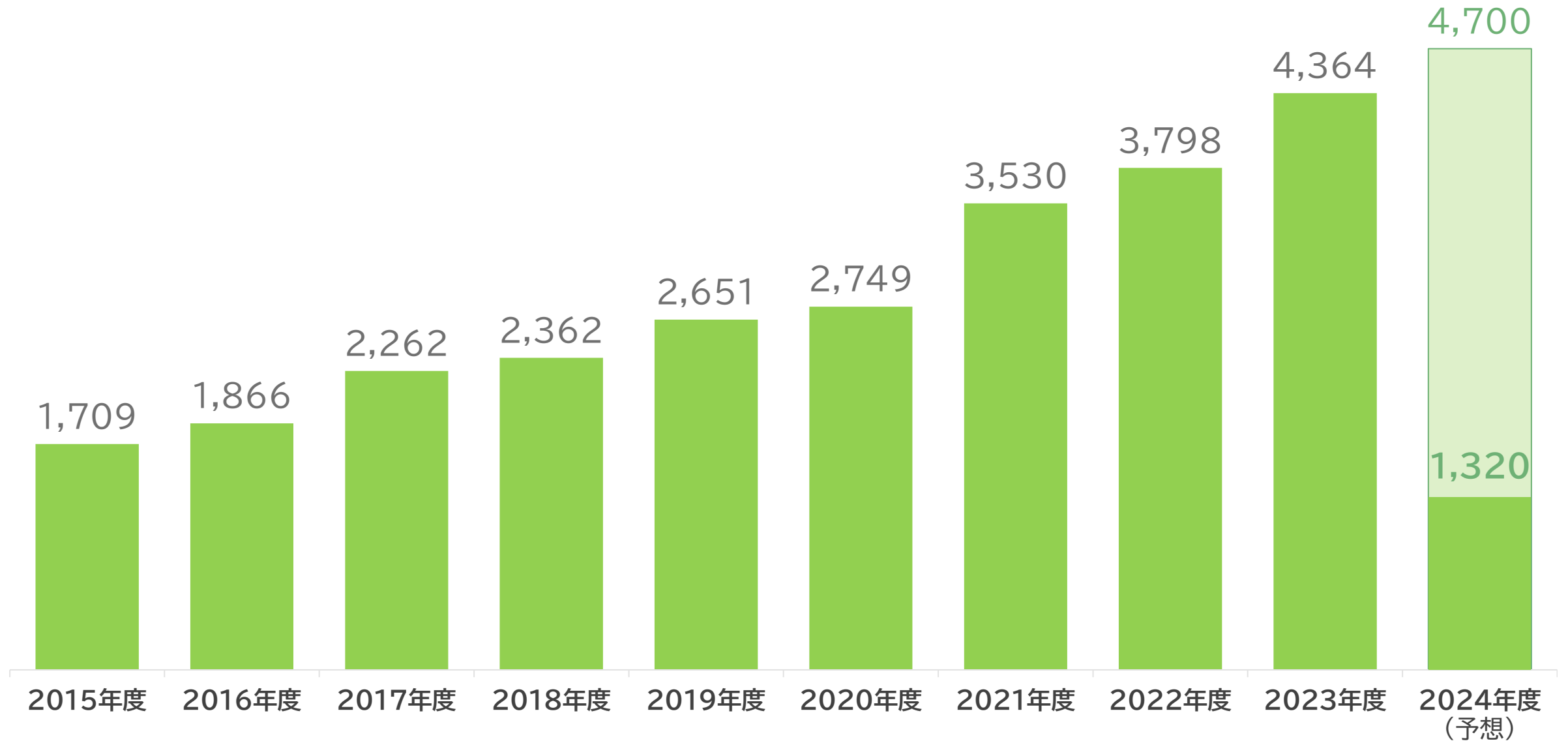


売上高と営業利益



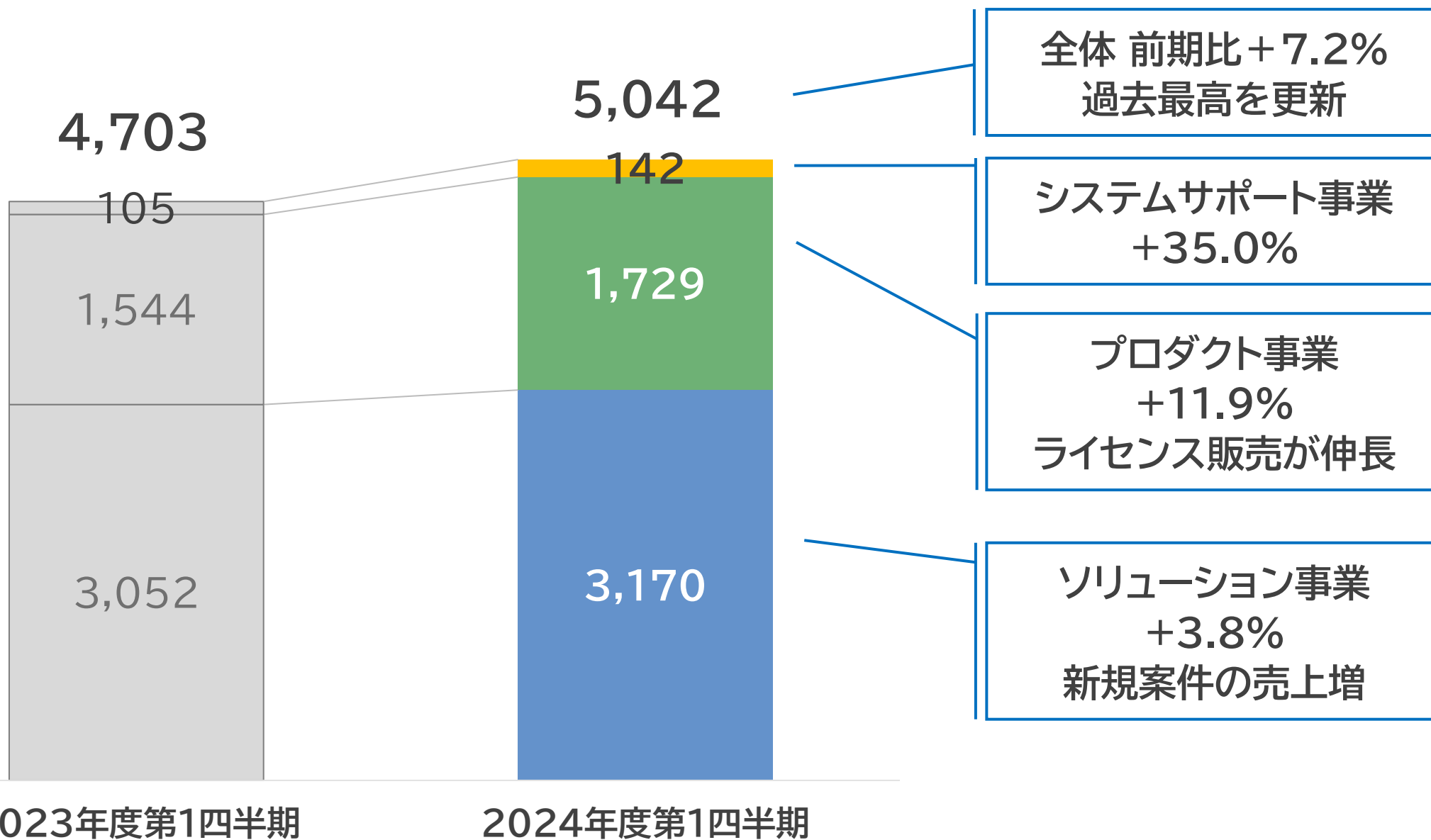
※2019年度以前の実績は、収益認識会計基準の遡及適用前の数値を表示しています。

mcframeライセンス売上高



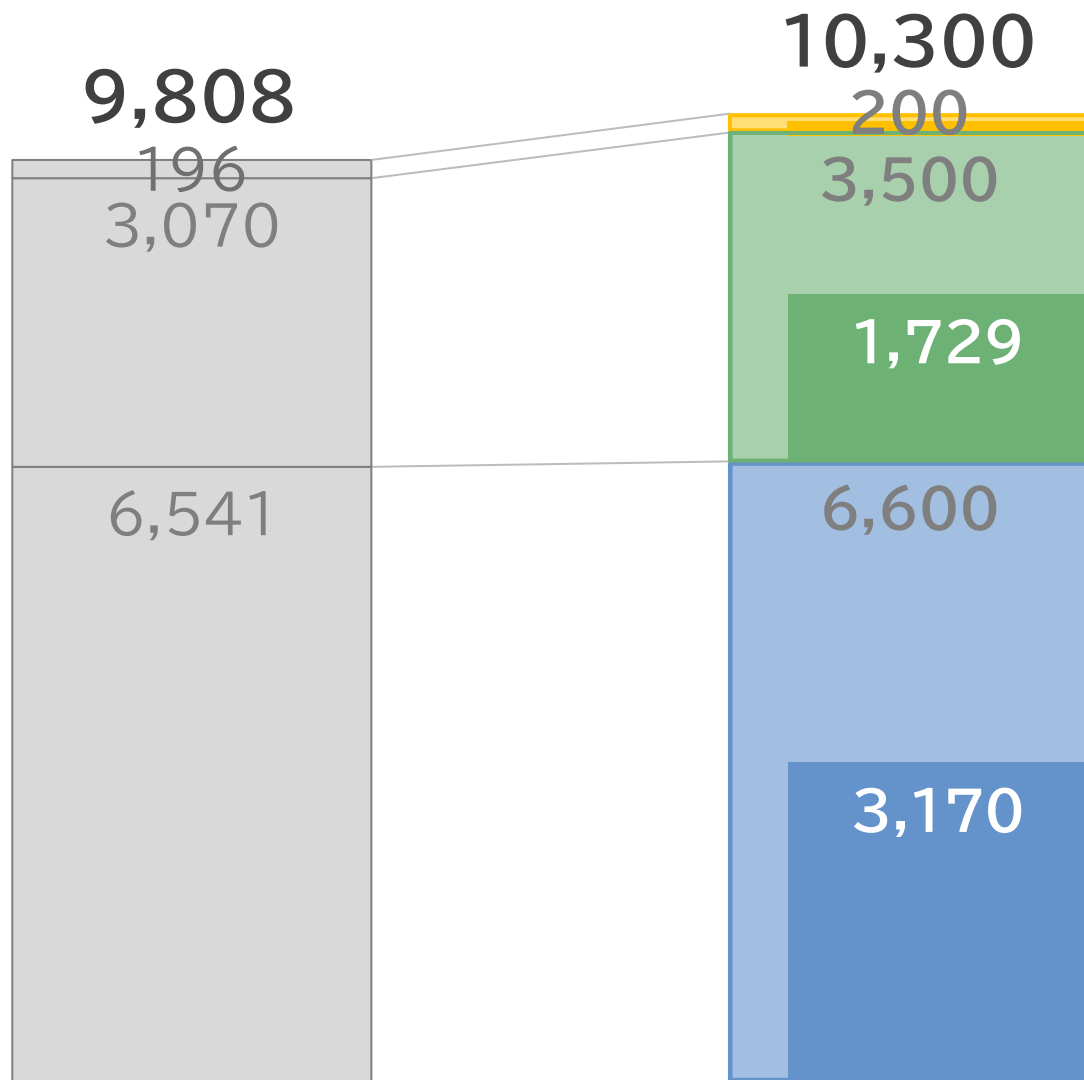
第1四半期 売上高の概要(前期比較)

(百万円)



上期 売上高の予想および第1四半期の進捗状況

(百万円)



<全体>
対上期進捗率 48%

<システムサポート事業>
対上期進捗率 71%

<プロダクト事業>
対上期進捗率 49%
ほぼ予定通り

<ソリューション事業>
対上期進捗率 48%
若干の遅れはあるが、
第2四半期で挽回する見込み

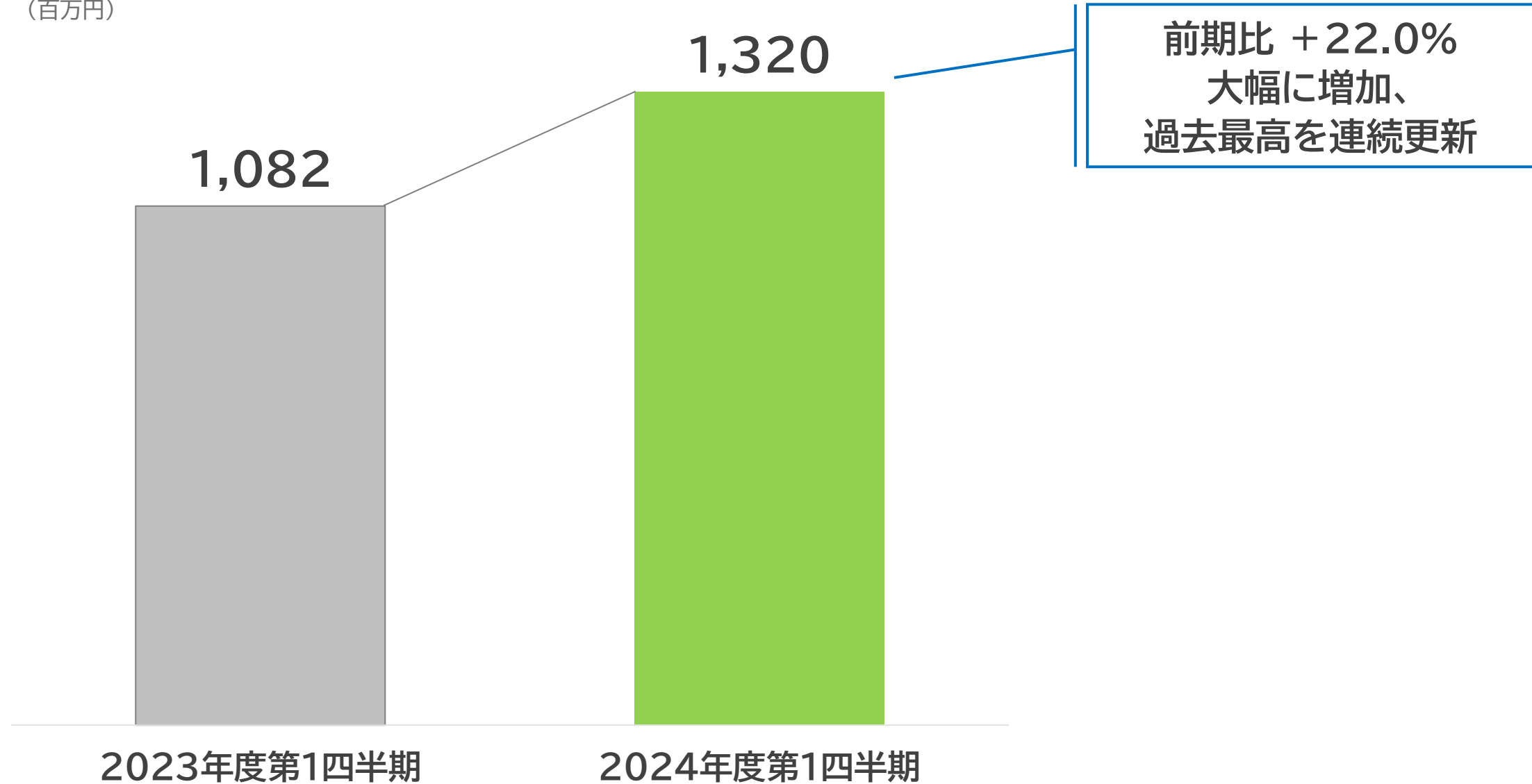
2023年度上期

2024年度上期予想



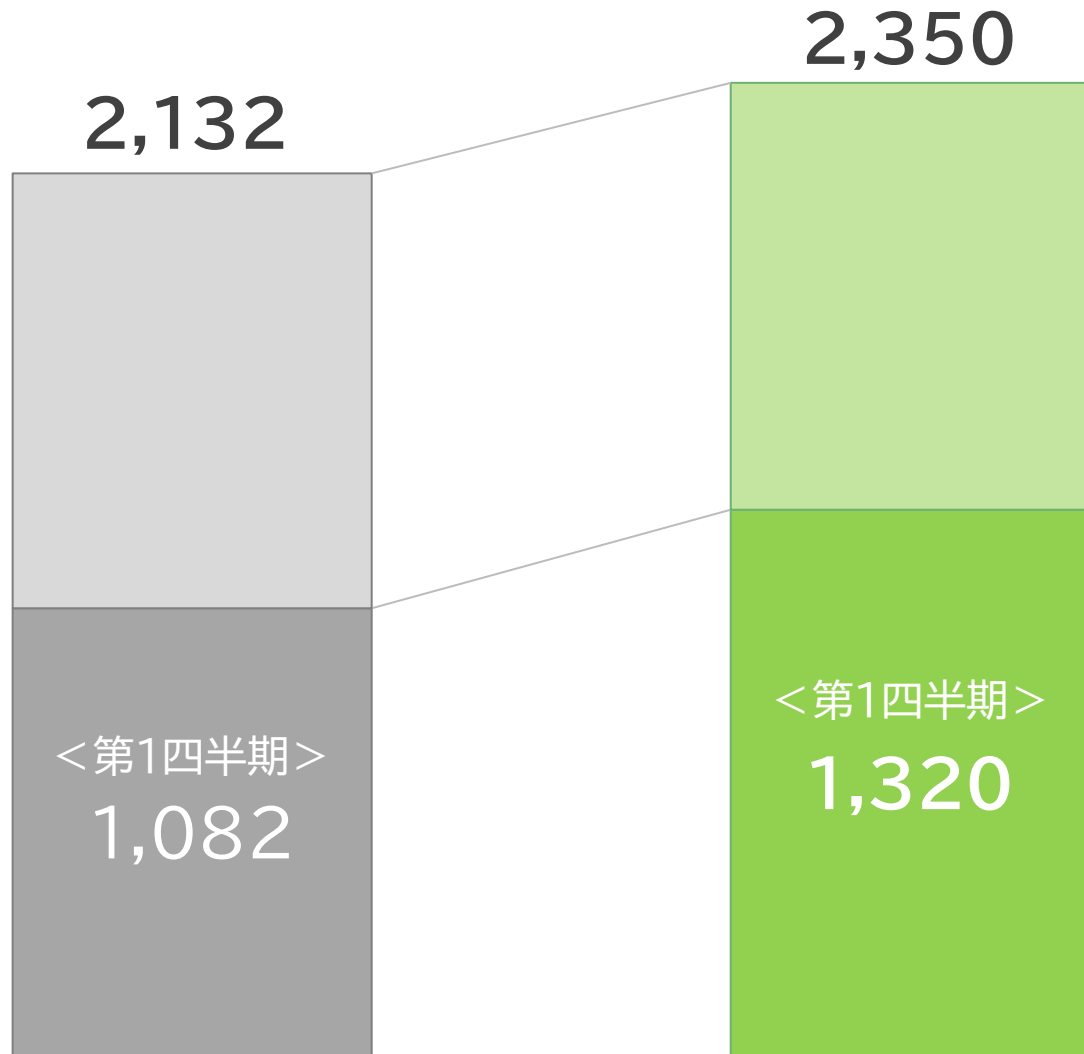
第1四半期 ライセンス売上高の概要(前期比較)

(百万円)



上期 ライセンス売上高の予想および第1四半期の進捗状況

(百万円)



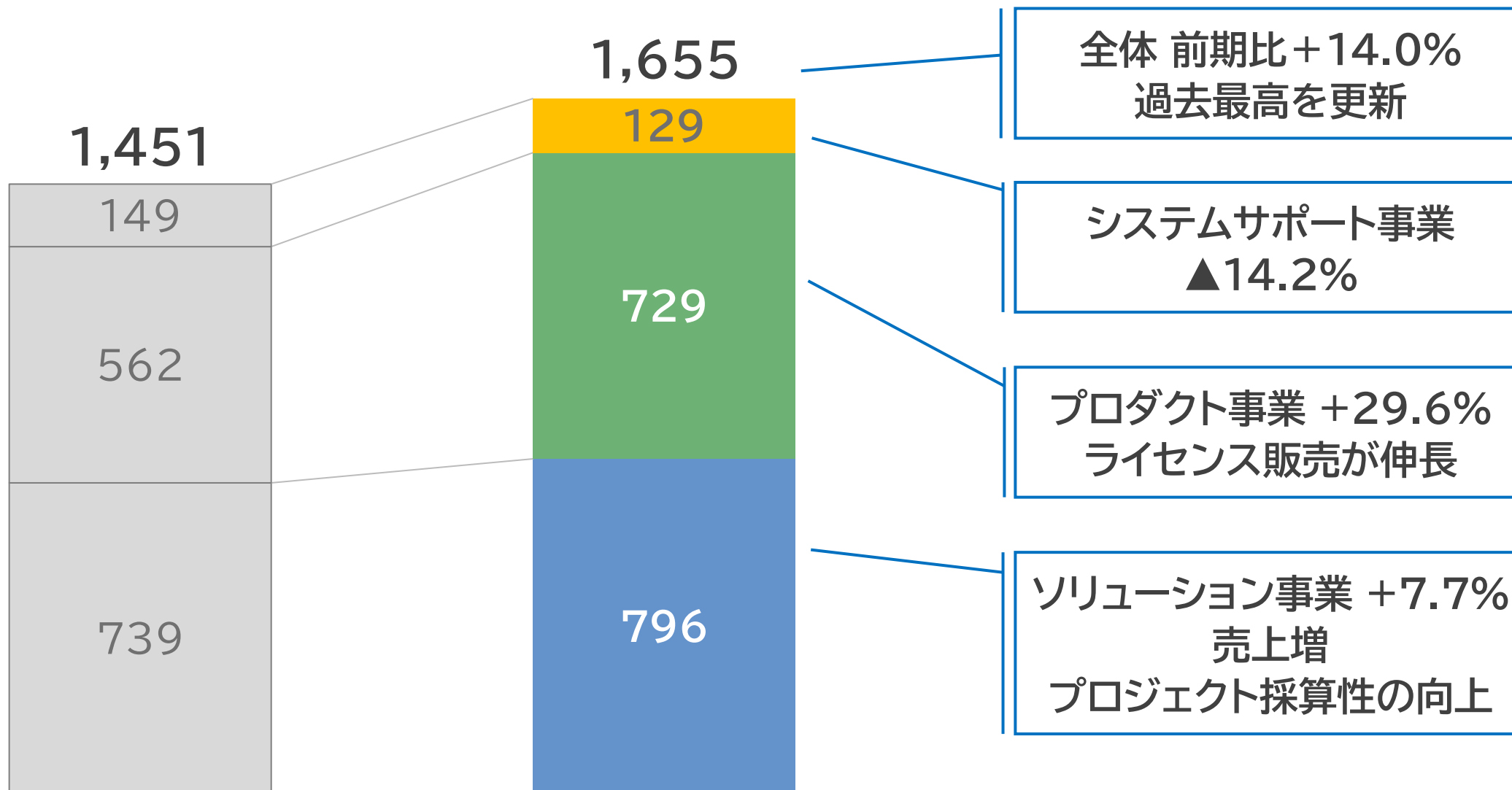
進捗率 56%
前期分期ズレ、2Q分前倒しも
あり進捗率高い

2023年度上期

2024年度上期予想

第1四半期 セグメント別利益の概要(前期比較)

(百万円)



2023年度第1四半期

2024年度第1四半期



貸借対照表の概要(前期比較) | 資産の部

(百万円)	2024年度 第1四半期末	2023年度末	増減
現金および預金	8,354	8,381	△27
受取手形、売掛金および契約資産	3,388	3,526	△138
仕掛品	20	9	+11
その他流動資産	817	665	+152
流動資産計 (比率)	12,581 (79.5%)	12,583 (80.1%)	△1
有形固定資産	170	169	0
無形固定資産	1,687	1,627	+60
投資その他の資産	1,387	1,337	+50
固定資産計 (比率)	3,245 (20.5%)	3,135 (19.9%)	+110
資産合計 (比率)	15,827 (100.0%)	15,718 (100.0%)	+109

ソフトウェアの
増加

貸借対照表の概要(前期比較) | 負債純資産の部

(百万円)	2024年度 第1四半期末	2023年度末	増減
未払勘定	1,310	1,229	+81
短期借入金	-	100	△100
その他流動負債	3,253	3,423	△170
流動負債計	4,564	4,752	△188
役員株式給付引当金	20	15	+5
固定負債計	20	15	+5
負債合計	4,584	4,767	△183
(比率)	(29.0%)	(30.3%)	
資本金	697	697	-
資本剰余金	565	565	-
利益剰余金	10,010	9,759	+251
自己株式	△81	△81	-
その他の包括利益累計額	50	9	+41
純資産合計	11,242	10,950	+292
(比率)	(71.0%)	(69.7%)	
負債純資産合計	15,827	15,718	+109
(比率)	(100.0%)	(100.0%)	

3. 2025年3月期 上期業績予想について

上期 損益の予想(前期比較)

前回(2024年5月10日予想)から変更無し

(百万円)	2024年度上期 予想	2023年度上期 実績	差異 (増減率)
売上高	10,300	9,808	+491 (+5.0%)
売上総利益	4,250	4,060	+189
売上総利益率	(41.3%)	(41.4%)	(+4.7%)
営業利益	2,150	2,114	+35
営業利益率	(20.9%)	(21.6%)	(+1.7%)
経常利益	2,150	2,126	+23
経常利益率	(20.9%)	(21.7%)	(+1.1%)
四半期純利益	1,470	1,443	+26
当期純利益率	(14.3%)	(14.7%)	(+1.8%)
受注高	10,500	9,820	+679 (+6.9%)

ライセンス販売の増加等により
増収の見込み。

営業利益は通常進捗であるが、
前年度上期が高水準であった
影響により微増の見込み。

4. 2025年3月期 通期業績予想について

損益の予想(前期比較)

前回(2024年5月10日予想)から変更無し

(百万円)	2024年度 予想	2023年度 実績	差異 (増減率)
売上高	20,500	19,493	+1,006 (+5.2%)
売上総利益	8,400	7,852	+547
売上総利益率	(41.0%)	(40.3%)	(+7.0%)
営業利益	4,200	3,885	+314
営業利益率	(20.5%)	(19.9%)	(+8.1%)
経常利益	4,200	3,877	+322
経常利益率	(20.5%)	(19.9%)	(+8.3%)
当期純利益	2,850	2,625	+224
当期純利益率	(13.9%)	(13.5%)	(+8.5%)
受注高	21,000	19,955	+1,044 (+5.2%)
配当(単体)	84.0円	78.0円	+6.0円
ROE	24.0%	25.9%	(Δ1.9%)

増収増益の見込み。
売上高・受注高は初の200億円
越え。
2026年度目標※に向け、
着実に進捗の予定。

※「経営Vision 2026改訂版」(2023.11.12発表)で設定した
目標値。売上高220億円、営業利益48億円。

営業利益は、2023年度より
開始した成長投資を拡大しつつも、
一定の増益を確保する。

経営資源の配分(2024年度)

再掲

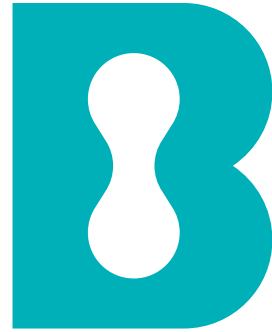
経営数値目標及び中長期的な資本効率の目標を達成するために、
経営資源を下記に配分する。

<2024-26年度投資予定額>

<p>ソフトウェア・ 研究開発投資 事業開発投資</p>	<ul style="list-style-type: none"> 既存製品のSaaS化対応 変革のためのDXに向けた新製品・新サービスの構築 (データセントリック型ビジネスなど) 次世代技術の調査 <p>mcframe Xへの投資加速</p>	<p>35~45億円</p> <p>うち 2024年度 13億円</p>
<p>人財投資</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教育制度・人財強化を目的とする制度の整備 社員エンゲージメントの向上や多様な働き方に向けた制度の拡充 給与水準の改定 採用戦略の強化 <p>採用人数増 従業員教育の拡充</p> <p>給与水準の改定・物価上昇分の補填</p>	<p>20~25億円※</p> <p>うち 2024年度 6億円</p>
<p>ビジネス基盤投資</p>	<ul style="list-style-type: none"> SaaSビジネス推進のための基盤の整備 新たなビジネスを支える社内のデジタル化 サステナビリティの推進に向けた投資 労働環境の改善 <p>働く環境の改善(オフィス増床・リニューアル)</p>	<p>6~10億円</p> <p>うち 2024年度 3億円</p>
<p>M&A投資</p>	<ul style="list-style-type: none"> 事業拡大、協業のためのM&A投資 新規事業創出のためのM&A投資 	

※人財投資=人件費増額分(2023年度を上回る人件費)+教育費総額 で算出している。





B-EN-G

Business Engineering for Growth

<注意事項>

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。